

2021/22 年度 第 1 回理事会議事録

日時： 2021 年 10 月 30 日（土）13 時～16 時 30 分
会場： Zoom によるオンライン会議
出席者： 山野博哉，梅澤有，中野義勝，栗原晴子（以上理事），野中正法（監事），
久保田賢（事務局），木村匡，波利井佐紀，宮本育昌（オブザーバー）
欠席者 井龍康文，藤田和彦（以上理事），鹿熊信一郎（監事）

議題

報告事項

(1) 会員動態について（資料 1）

資料 1 に基づき，2020/21 年度末時点の会員数と前期末からの増減について報告された。

(2) その他

・大会の準備状況について

2021 年 10 月 29 日（金）の通常登録締切時点での参加登録者数が 167 名であることが久保田事務局長より口頭で報告された。

審議事項

(1) 2020/21 年度事業報告・決算および監査報告について（資料 2，資料 3）

2020/21 年度事業報告および 2020/21 年度事業決算について，それぞれ資料 2 に基づき山野会長から，資料 3 に基づき久保田事務局長から説明され，承認された。また，野中理事より 10 月 28 日（木）に実施された事業監査および会計監査の結果，適正な事業実施および予算執行が行なわれていたことが報告された。また，2019/20 年度に引き続き 2020/21 年度まではコロナ禍で事業の執行が困難であったことは一定程度理解できるが，受託事業の獲得などを通じた事業の拡大について 2021/22 年度の検討課題としてほしいとの付帯意見が述べられた。

(2) 2021/22 年度－2022/23 年度理事および監事候補者の選出について（資料 4）

2021 年 6 月に実施された選挙による会長候補者，7 月に就任した新代議員により推薦された会長および理事候補者および理事会の円滑かつ継続的な運営を可能にするため，理事の半

数改選等を考慮し、井龍康文会員、木村匡会員、栗原晴子会員、中野義勝会員、波利井佐紀会員および山野博哉会員を理事候補者として、代議員総会に推薦することを決定した。

また、監事についても1名が重任して半数交代を実現するため、野中正法会員および宮本育昌会員を推薦することとなった。

(3) 2021/22 年度事業計画・予算案について（資料5、資料6）

2021/22 年度事業計画案および 2021/22 年度予算案について、それぞれ資料5に基づき山野会長から、資料6に基づき久保田事務局長から説明され、承認された

(4) 2021/22 年度 第1回代議員総会の招集と議案について

議題(1)～(3)の決議に基づき、11月27日(土)に2021/22 年度 第1回代議員総会を開催することを確認し、11月12日(金)までに招集することとなった。また、2021/22 年度－2022/23 年度会長、理事および監事候補者の選出について、代議員へ説明が必要な項目があることから、2021/22 年度－2022/23 年度理事および監事候補者の選出の議事に先立ち、

(5) 学会各賞の決定および授賞式について（資料7）

日本サンゴ礁学会学会賞候補者として土屋誠会員が推薦されたこと、学会賞受賞候補者選考委員会により選考が行われたことおよび推薦が妥当との報告があったことが山野会長より説明され、承認された。

(6) 規則の変更について（資料8）

役員・代議員選任規則16条において、理事の任期が1期2年とされていることおよび連続2期とされていることから、理事の2期目で会長に就任したものは、会長を1期しか務められないことから、理事会運営の連続性の観点から連続2期まで就任できるよう規則の変更が検討された。その結果、代表理事に限り、2期を超えて3期目に理事として就任できるよう規則改正することとなった。なお、2020/21 度内に実施された会長候補者選挙は、今回議論された規則改正に基づき実施される必要があったことから、2021/22 年度代議員総会において、2021/22 年度－2022/23 年度理事および監事候補者の選出の議題に先立ち、代議員へ説明し規則改正を諮ることとなった。

(7) 著作権規程および著作権譲渡証書について（資料9）

Galaxea, Journal of Coral Reef Studies 著作権規程および著作権譲渡証書について, 琉球大学の弁理士への相談による内容が確認された資料に基づき, オブザーバー出席の波利井英文誌編集委員長より説明され, 承認された。

(8) その他

- ・環境省「サンゴ礁生態系保全行動計画」について (資料 10)

今後の取り組みに関する照会に対して, 本会として行動計画を策定することが提案され, 承認された。